科目名	看護学概論	対象学年・時期	１年・前期
講師	副学校長	単位数・時間数	１単位・３０時間
授業概要	ディプロマポリシー１・２・６に基づく。この看護学概論は「Introduction to Nursing」とも表現され、看護学の導入部として位置する。本科目では人間・環境・健康・看護の概念について理解し、看護の本質について考える。さらに看護の変遷と看護の役割・機能、看護を提供する場と仕組みを学び。それらの知識を土台として看護への関心を高め、「看護とは何か」について探求し続ける力を身につける。		
授業形態	講義・グループワーク・プレゼンテーション		
学習目標	１．看護の概念を理解するとともに、看護の目的や機能を学び、看護活動の概要が理解できる。 ２．健康の概念を理解し、健康の意義を考察できる。 ３．人間と環境の相互作用について学び、人間の多様性について理解できる。 ４．看護の変遷と併せ、代表的な看護理論化とその理論について知る。		
授業計画	１回目：ガイダンス…「看護学概論」を学習する意義について　２ 回目：「看護とは」を考える　３ 回目：看護の変遷①…ナイチンゲールの生涯と功績　４ 回目：看護の変遷②…年表を作成してみよう５回目：看護理論家とその概念 ６回目：テーマに沿ったグループワーク ７回目：看護実践の質の保証と倫理 ８回目：「人間とは」を考える①…看護の対象としての人間　９ 回目：「人間とは」を考える②…統合体としての人間　１０ 回目：日常生活行動からみた人体を知ろう①…グループワーク　１ １回目：日常生活行動からみた人体を知ろう②…グループワーク １２回目：日常生活行動からみた人体を知ろう知ろう③…プレゼンテーション １３回目：「健康とは」を考える…ストレスとストレッサー １４回目：看護の継続性と連携 １５回目：終講試験		
使用テキスト・参考書	系統看護学講座「看護学概論」（医学書院）/「看護覚え書」（現代社）		
事前・事後学修	授業の終了時に次回の講義箇所を確認するので、その時に事前学習の内容等の指示をします。		
評価基準・評価方法	筆記試験８０％・レポート２０％による評定（Ａ・Ｂ・Ｃ）評価		
備考	本科目では「考える」・「表現する（書く・話す）」・「他者の意見を聴く」ことを重視していきます。この活動をとおして獲得した成果は「よい看護を行う」ための基盤となるはずです。「看護」を概観し、これからの学習のイメージを持つことができるよう学習に取り組みましょう。		